

『紡ぐ』

2020.12. / 第15号
発行 教育相談室「あした塾」

民衆交易バナナ バラゴンバナナと 特定非営利活動法人 「いきいき」

宇水所には「地域で生活する障がいのある人の自立支援と自己実現を支援」している特定非営利活動法人「いきいき」があります。平成24年4月に就労継続支援B型事業所に認定されています。スタッフは5人ですが、ニート入所している人たちが自立できるような一生懸命取り組んでいます。

この「いきいき」では牛乳パックのリサイクル事業や農作業、清掃作業、ウェスづくりなどいろいろな活動をしています。平成20年2月から「無農薬で栽培された」バラゴンバナナ」の販売活動を始めました。この活動は、「いきいき」入所者の「働いて給料をもらう経験」の他に「健常者と会話することで、生活に自信を持っていけるように」する目的があります。（星野清一理事長）ぜひ、市民の皆さんの理解と協力をお願いします。



遠藤 勇

秋場所。宇水所出身の遠藤は初日から4連勝と好調なおバリエーションで、やはり、ケガの影響は、途中から苦戦。千秋楽、朝青龍の甥である豊昇龍を破り8勝7敗の勝ち越し。多くの石は「ホッ」と胸を打っておられたのでは…。



（3日目、徳勝龍を破る。一番、いい顔です。）

投稿

梶 室木正武さん



（不図議。11月に味さまへ。）

行く秋の吉事見ると
百年の能登キリシ
の紅弾丸
満月を二度観る月過ぎ
海中に潜む石花びら
膨れを鳴す
（石花びら）

バナナ購入会員を募集しています!!

「いきいき」では「バラゴンバナナ」を、毎月、定期購入していただける会員を募集しています。毎月、第2水曜日に配達します。代金は600円です。「いきいき」までお電話下さい。

TEL: 52-4377

『バラゴンバナナ』は不列颠の生産者が無農薬で栽培しています。形や大きさはおちおちで見れば良くないのですが、おいしいバナナです。

不列颠のネグロス島で生産に頑張っている人々を応援する活動でもあります。

穴水再発見

こんなところに なぜ大砲が

「穴水大宮」と「美麻奈比古・白山神社」

「しんぶん『紡ぐ』」の読者から「私、小さい頃に、穴水大宮にある大砲にまたがって遊んでいた。でも、なんで、ここに大砲があるのかわかんない。調べておいてください。」という話を聴きました。

穴水大宮を訪れ、名誉室司の関さんから、いろいろなお話を聴かせていただきました。その話の中に、川島的美麻奈比古・白山神社にもう一つ大砲があるという話があり、「エー」と声が出していました。確かに、美麻奈比古・白山神社に、ひと回り小さい大砲がありました。説明板には、大正12年3月に穴水町長布施丑造名で、記念品としていただきたいという「下付願い」が出され、渡されたとあります。インターネットで調べると同様の記述があり、穴水町内の忠魂堂、近津比咩神社(穴水大宮)、美麻奈比古・白山神社に大砲の他、魚雷なども渡されたようです。「一般市民の尚武精神涵養に供したい」と。穴水大宮の関さんのお話では、この大砲は、ケヤキの木で作った大きな車輪の台車に、鵜島港の港から、大砲を敲きながら大勢を運んだとのことでした。当時は、道が荒れていたから、着いた頃には車輪はボロボロだったとか。(忠魂堂はどこかわかりませんが、ここには魚雷があったようです。今はないとのこと。)



穴水大宮(近津比咩神社)にある大砲

境内にある説明板には「日露戦争記念・旅順港攻撃で、最も遠距離まで砲弾を飛ばしたという装甲巡洋艦『春日』の砲身と記してありました。



美麻奈比古・白山神社にある大砲

巡洋艦『和泉』の副砲の砲身で、日清戦争・日露戦争に出撃しているようです。『春日』と共に旅順港攻撃にむか。

潮騒の道を訪ねて...

先日、「しんぶん『紡ぐ』」を読んで、輪島市内のご夫婦が「潮騒の道・おさな林道」を訪れたというお話をいただきました。『輪島には、とても素敵なところだった』と話していました。ただ、管理が行き届いていないところがあり、ちょっと困ったこともあったとのことでした。(ほんとに嬉しいです。)



アンケートでの提案などは

アンケートの回答にあたり、提案や要望などは、おとめて、市長、各課長、議員の方々に渡す予定です。思いが届いたらいいですね。